

学校評価シート（自己評価）

十文字女子大附属幼稚園

1、園の教育目標

本園は、お子さんの初めての集団生活の場として、幼児にとって遊びは学び、人としての基本の全てを自由な遊びを大切にする幼稚園生活の中で身に付けるように教育します。保育者はご家庭と連携し、園児の個性、育ちを受け入れ、深く関わり適切な援助をして、信頼関係を築く事を第一にします。幼児は自然豊かな環境の中で大好きな先生と友達と関わり、自分の思いを充分出せ、自らいろいろ考え行動し思い切り友達と遊ぶ事はとても大切です。又、時間を決めて一斉に教えるのではなく、自分の興味のある遊びを力一杯する中に、運動力、文字の読み書き、絵を描く工作をする、唄う等々の力がつきます。その為には保育者は子ども同志が円滑に関われるように丁寧に援助を重ね仲立ちし、必要な教材道具を適格に用意し、共に遊び、成長を促せるように心と体を目いっぱい使って携わります。

2、具体的な目標や計画

- ・年少保育は2名担任とし、主事・フリー教員も手をかけ、手と心を充分にかけて、保育者と信頼関係を確立し、幼稚園大好き、元気一杯遊べるように保育する。
- ・県に加配手続きをし、一対一で向き合い、手をかけるべき園児に手厚く携わり成長できるよう務める
- ・2018. 4より施行された教育要領の理解を深める努力をし、より良い保育を全職員でめざす。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果 (※)	結果の理由
教職員全員が他園の一日参観をする	A	全員が参観した
他園の参観を通し、再度全員で自己評価を行い、公表する	C	十分な検討が出来ていない
保育後の自由な会話を通して、気づき、現状の理解の共有を深める	B	全体とはいかなかったが、努力はした
主事がブログ「タートルだより」を担当する	B	さらに中味を充実させる
働く保護者の増加に伴い、早期の預かりや「きりん組」の時間延長の希望があることから、「幼児に無理のないように」を基本とし、3歳児の「きりん組」スタートを従来より早くすること等を検討する	B	職員間では意見を出し合ったが、実際には、平成30年度のきりん組に反映させた

大学教職員、第三者との意見交換を必ず実践する。	B	特別支援・幼教の先生から話を聴く機会を持た
未就園児クラス「いちご」を本園の理解の機会に留めず。保護者の育児の向上にも役立つプログラムを導入する	B	度々、いちごの保護者会を開いて、質問などに答えた
学園内の学生・生徒の実習だけではなく、近隣の大学の実習や見学可能な限り協力し、連携を深める。	B	ご希望を出来るだけ受け入れた
幼小接続の観点から、近隣小学校との連携・連帯を深めるとともに、小学校に園児の幼稚園での様子を伝える資料の作成について検討する。	B	資料の作成と共に入学する小学校の先生と連絡をとった。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
C	学園全体の取り組みとして幼稚園の中期計画を立て、それを一年ごとに具体的に組み組みを決めて推めた結果、取り組めた事、計画だけに終わってしまった事もあり、さらに本年度取り組んでいこうと考えています。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>父母会の役員会等を利用し、保護者の意見を聴く機会を増やす</p>	<p>定例会に、園長や主事が参加して話を聴く機会を設ける。 保護者が何か意見をいえる場所（窓口等）がほしいという声があるので、それはどのような形で実現できるか、教職員間で相談しながら取り組んでいきたい。</p>
<p>附属幼稚園という立場を生かし、大学の協力のもと、保護者の育児の向上に資するプログラム・または悩みを気軽に相談できるシステムを実現する</p>	<p>子どもが保育中に個別相談できる時間を設ける。 内容によっては、大学につなぐ役割をする。 相談時間等は設けず、立ち寄ってもらって聴く雰囲気。 場所は運転手さんが利用している控室を借りる予定。 以上踏まえて取り組んでいけたらと思う。</p>
<p>幼稚園として近隣の子育て家庭の役に立てる事を考え実践する。</p>	<p>近隣の幼児家庭向けとして、10年前から始めた『はらっぱ』の内容を見直す。→幼児教育以外の分野も視野に入れたらどうか等々（食や運動など）</p>

学校評価シート（学校関係者評価）

十文字女子大附属幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 平成30年6月7日（木）

14:30～15:30（時間）

出席者 評価委員（大学役職員）2人

評価委員（父母会役員）2人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

おおむね適切である。

2. 評価結果の内容は適切であったか

適切に評価がされている。

ただ、いちごや、きりん、ブログについては、今も内容が充実しているので、もう1段階上でもいいのではないか。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

設定はされている。

定例会の参加は、別途日を設けないといけないと思うので難しい。ただ、父母会で意見を吸い上げて、園側に意見ができるような流れをつくれたらいいとおもう。

個別相談については、担任に相談をすることが多いと思うので、実行するのが難しいのでは。

ただ「開かれた幼稚園」としてはとてもいい取り組みだと思う。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

適切に行われていると思う。

これからの取り組みに期待をしたい。